

愛に生き

真に生き

美に生きる

深川市立一已中学校 学校だより 7/22

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341 FAX：0164-22-3653

<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiyan-jh/index.html>

「失敗しても」(前号の続きみたいですが)

校長 坂本 征人

いよいよ明日から25日間の夏休みが始まります。夏休みは自由な時間がとれる分だけ時間の管理が大切になってきます。各自がしっかりとした目的意識を持ち、計画や目標を具体的に立て充実した夏休みにしましょう。普段できないことにも積極的に取り組み、学力・体力・気力を蓄えてほしいと思います。特に3年生は進路選択に向け、学習での目標をしっかりと立て最善の努力をしてください。不安定な天気も考えられますので事故のないよう、体調管理にも気を配り、有意義な夏休みを送ってください。

さて、学校がスタートしてしばらくたつと、張り切って立てた目標が思うようにいかず、さまざまな挫折を味わうことがあります。そこで諦めてしまうか、さらなる挑戦を続けていくか。それは大きな成長の別れ道です。先月、中間テストがありました。「頑張って勉強したのに思うような点数が取れなかった」と挫折を味わった人もいるかもしれません。「すっかりやる気をなくし勉強する気になれない」と思っている人はいませんか。「努力したのにうまくいかなかった」などの悔しい気持ちを味わった経験もあるでしょう。そのようなときに、あなたはどうしましたか。「もういいや、どうせ私なんて…」と諦めましたか。それとも、「いや、もう一度!」と言って立ち上がりましたか。

為末大さん(元陸上選手)は、初出場のオリンピックで転倒し、予選敗退という結果に終わりました。しかし、翌年の世界陸上でメダルを手に入れました。「勝つことではなく、自分を諦めないで、立ち上がった瞬間が自信になる。あの時、転んだけれど、また立ち上がったじゃないか、自分は逃げなかったじゃないかという思いが自信につながる」為末さんが残したこの言葉を、仮に「へこたれない力」と名付けます。失敗を繰り返して逃げているうちに、「こんなことでいいんだろうか…」と、もう一度、自分と向き合えるような瞬間が必ずやってきます。「もう一度やってみよう!」という立ち上がりの瞬間に、「へこたれない力」が湧いてきます。挑んで、負けて、また立ち上がっていく。

「今回のテストはさんざんだった」「勉強なんかしたくない」「部活でレギュラーの座を奪われた、もう辞めたい」など、思うようにならないのが人生です。そこで「もう一回、頑張ろう!」という「へこたれない力」で踏ん張れるかどうか。それが人間としての力につながります。

市内高校説明会

3年生対象の市内高校説明会が行われ、進路学習に対する意識が高まり理解を深めることができました。また、市教委より独自の助成制度について説明がありました。お子さんを通じて資料を配布していますのでご確認ください。



一已中学校の食育学習

食品メーカー大手「明治株式会社」様の協力を得て、総合的な学習の時間に成長期の食事の大切さを学びました。体に必要な栄養素についての講義だけでなく、飲むヨーグルト作りにも挑戦しました。



夏休みを前に・・・

夏休みを前に深川警察署様の協力を得て、情報モラル教室が行われました。SNS等のネットトラブルは、本校でも頭を悩ませているところです。長期休業中は生徒の生活が不規則になること、問題行動や不慮の事故が発生しやすいことなどが懸念されます。学校でも十分指導しますが、家庭での見守りにご協力ください。



生徒会有志によるサマーコンサート

例年行っていた生徒会合唱委員会主催の出張コーラスが実施できないため、今年のクリスマスコンサートに引き続き、サマーコンサートを実施しました。歌いっぱいの一已中！音楽の力で学校を盛り上げていきます。



8月の学校行事予定

17日(水) 夏季集会
 26日(金) 拓大ものづくり教室(3年)
 18日(木)・31日(水) スクールカウンセラー相談日
 8月17日～9月21日 教育実習

23日(火) 漢字検定
 30日(火) 人権教室